

アルコール関連問題予防研究会

「マックとは」 この10年、これからの10年

平成30年2月4日
NPO法人ジャパンマック・川崎マック
本島 直幸

M・・・(Mission)ミツション →使命、任務
A・・・(Alcohol)アルコール →酒
C・・・(Center)センター →施設

M・A・C = ミッション アルコール センター



Fr. John Meaney, M.M.
1930-2007
日本にAAをメッセージして
日本にAAをメッセージして
日本にAAをメッセージして

日本にAAをメッセージして
マックを開設してくれた恩人
アルコール依存症者本人
ジャン・ミニー氏(1930~2007)

大宮ハーフウェイハウス

メリノール会の支えと共に、ジャン・ミニー神父が設立。1年後には12~13名のアルコール依存症者の仲間がAAのプログラムを使って回復を始めていました。「回復を信じている雰囲気」「家庭的な雰囲気」を重視する居場所がここにありました。

設立 : 1974年(昭和49年)11月



みのわマックの歴史

- 1978年6月 荒川区東日暮里の一軒家に日本で初めての12ステッププログラムによる通所リハビリテーション施設「三ノ輪MAC」として開設。
- その後、最盛期には周辺に五つのホームをつくり、大阪、札幌、千葉などにもMAOを開設する。
- 1984年 設立者ミニー神父の病氣や財政面での問題などから日本マックとして一体的な運営から、各マックが独立して運営する形へ移行する。

みのわマックの歴史-2

- 1993年5月 荒川区東日暮里の一軒家が老朽化により北区滝野川に移転、施設名をみのわマックに変更する。
- 移転と並行して、関係者にも協力を求めて、みのわマック運営委員会による運営に変更する。
- 1994年 北区より精神障害者共同作業所として補助金を交付され、2011年4月より、自立支援法の自立訓練(生活訓練)サービス事業所として認可され、現在に至る。
- 2000年特定非営利活動法人ジャパンマックとして認証。
- 2016年7月現在、デイケア7、ナイトケア21を運営している。(ジャパンマック・東京、川崎、北九州、福岡)

マックとは

マックとは、アルコール・薬物依存症からの回復の手助けをする「アルコール・薬物依存症リハビリテーション施設」です。

マックの利用者がマックプログラム(お酒を飲まない生き方を身につけ、その人らしい生き方を達成することができるよう支援することを使命としています。

マックでは、AA12ステップの理念に基づいた回復プログラムを用い、利用者がマックを退所してからも地域でAAミーティングに参加しながらソプラエティを続け、健康的な社会生活(社会復帰)を営んでいくことができるための基礎を提供します。

マックの基本理念

援助機関として、経験と力と希望を分かち合い、ソプラエティ(飲まないで生きる)を維持するための知恵や手がかり(回復のプログラム)を提供することにより、利用者が新たな「生き方」を育むための準備をする。

何をするのか？

自分自身にとって「アルコール(アディクション)がどのような存在であったか」を正直に見つめます。

アルコール(アディクション)に対するコントロールが失われたことを認めます。

仲間(回復のサンプル)、それも信頼のできる仲間との出会いを通して、自分自身を肯定的にとらえ直し、金んでしまった古い生き方と決別します。

新たな生き方を作りだす準備をします。

マックプログラムは希望のプログラムです

川崎マックの紹介 地域活動支援センター



川崎マックの歴史

- * 1992. 4 精神障害者小規模作業所として開設
- * 2007. 1 特定非営利活動法人川崎マックとして認証
地域活動支援センター川崎マックアルコールケアセンターとして開設
- 2015. 4 特定非営利活動法人ジャパンマックに併合
地域活動支援センター川崎マック名称変更
- 2016. 3 ホープ 入所施設開設
- 2016. 8 すたーと 共同生活援助開設

入所施設

すたーと

- 2016年8月共同生活援助(GH)
川崎区四谷上町ビル2F
- 定員5名
- 共同生活により12ステップを生活に生かしていくことを学ぶことを大切にしている。

ホープ

- 2016年3月
川崎区四谷上町ビル3F
- 定員4~8名
- コンセプトは、すたーとと同じ。

みのわマック



女性の施設

ナイトケアホーム ロイス

- ＊ 精神障害者福祉ホームA型(都単独事業)
- ＊ 2003年10月に設立。(杉並区)
- ＊ 2008年に板橋区に移転、スリークォーターハウスの個室二部置を併設している。定員10名

ウイメンズアディクションサポートセンターオハナ

- ＊ 2003年4月に女性のデイケア施設として設立。
- ＊ 板橋区板橋に移転して、2009年4月に北区滝野川に移転、同時に自立支援法の自立訓練(生活訓練)サービス事業所として認可される。
- ＊ 定員20名

ドラマセラピー

- ＊ 7～8人のメンバーがひとつのグループとなり、およそ半年(20回)にわたり、劇遊びから「人生劇場」まで、ともに経験していきます。
- ＊ 身体を動かし、声を出す表現で心身が活性化・浄化される
- ＊ 「演じることで癒される」
- ＊ 自分を理解し、仲間を理解できるようになる
- ＊ 感情表現、自己表現の能力が高まる
- ＊ 仲間からの受容・尊重を通して自尊心が高まる
- ＊ これらの効果の積み重ねが現実生活での成功体験につながり、さらなる自信・自尊感情のアップへの好循環が期待できます。

RDデイケアセンター

自立訓練(生活訓練)サービス事業所(2013.1)

主なプログラム:

12ステップを施設用に構成された「リカバリー・ダイナミクス®」を実施します。リカバリー・ダイナミクス®は、AAの基本書籍『アルコールクス・アノニマス』(ビッグブック)に記されている12のステップを28回のグループセッション(GS)に分解し、小さな目標を順にクリアしながら最終目標(回復)到達を目指すプログラム。実績から、欧米では高い評価を受けています。

マック・ファミリーエイド

指定特定相談支援事業所

- ＊ サービス等利用計画相談の作成
 - ＊ 家族教室
家族を対象とした、依存症に関する教育的プログラム、電話相談等
- 依存症啓発活動と啓発セミナー事業
依存症に関する専門家による啓発セミナーの実施

マック・チャレンジサポート

就労移行支援事業所(2014.4)

マック・オハナ・RD利用者の就労支援を主に行っている。
(履歴書・職務経歴書の書き方、ハローワーク・就職セミナー等に同行)

ジャパンマックのスタッフ

- * 依存症の当事者が当事者を支援することを基本としている。
- * リカバードとしての強みだけでなく、専門的な教育も必要と考えている。
- * PSW-12名、看護師-1名(ジャパンマック-65名)
- * 専門のカウンセラーやスーパーバイザーに通うことも奨励している
- * デイケア-7か所 ナイトケア-60名以上(GH.福祉ホーム等)

これからの10年

- * 医療関係者との距離 (危険を回避)
- * 役割分担 (クリニックデイケア・依存症施設)
- * 依存症は病気である (まだまだ)
- * スタッフの育成
- * 女性の依存症施設

ご清聴ありがとうございました。